

事業番号	08 03 16	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	テーマ別ツーリズム振興及び観光バス運行支援事業費				担当課	部局	観光部		
						課・局・室	観光誘客課		
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:kankoshin@pref.nagano.lg.jp">kankoshin@pref.nagano.lg.jp</a>			
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地づくり			実施期間	H28 ~			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出							
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (カ) 観光の振興							

## 1 事業の概要

目指す姿	点在している魅力ある観光地をテーマ別につなぎ合わせ、ツーリズムとして造成するとともに、貸切ツアーバスや周遊バスへの運行支援を行い、県内への誘客促進と周遊の促進を行う。			
現状（予算編成時）	<p>○本県の観光地が持つ強みを戦略的につなぎ合わせ、他にはない信州の魅力として発信する必要がある。</p> <p>○平成26年度から貸切バスの運行制度や料金制度の規制が強化され、日帰りツアーの目的地として長野県が外されてきている。</p> <p>○滞在時間の減少にともない、立ち寄り施設の利用者減少が進んでいるため、運行経費の支援によって地域経済の活用化を図る必要がある。</p>			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施： 実施中	テーマ別観光の取組みを広げるためには地域住民との協同が必要なため		
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）			
	○平成28年延べ宿泊者数及び観光消費額の計画達成。			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) H28 (決算) H29 (当初)
	テーマ別観光振興事業	委託	・テーマ別観光の研究・造成費用 ・プラン造成費用 (委託先:株式会社JTB中部)	0 15,945 12,000
貸切ツアーバス促進支援事業	委託	・旅行形態に合わせたバス運行支援 ・送客実績に応じた旅行催行経費支援 (委託先:長野県観光機構)	66,000 52,831 25,000	
周遊バス運行支援事業	委託	県内鉄道駅を起点とし、観光地を周遊する二次交通を補完する周遊バスの運行経費支援 (委託先:長野県観光機構)	0 2,315 10,000	
合計			66,000 71,091 47,000	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越		29,000		項目	H26末	H27末	H28			H29目標
	当初予算		66,000	47,000				目標	成果	達成状況	
	補正予算	29,000			延べ宿泊者数	1,790万人	1,921万人	1,899万人	1,780万人	未達成	1,956万人
	合計(A)	29,000	95,000	47,000	観光消費額(共通基準)	6,571億円	7,410億円	6,971億円	7,320億円	達成	7,180億円
	一般財源		66,000	41,000							
	県債										
	国庫支出金	29,000	29,000	6,000							
	その他										
	決算額(B)	0	71,091								
概算職員数(人)	0	2.00	2.00								
概算人件費	0	15,828	15,828								
概算事業費(B(A)+C)	0	86,919	62,828								

## 目標に対する成果の状況

平成28年の延べ宿泊者数は目標に対して未達成となったが、観光消費額は達成となった。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>平成29年度からは、長野県観光機構が主体となり、県からは負担金を負担し、協力して事業を実施していく。</p> <p>そのうち、周遊バス運行支援事業については、運行支援に追加して、利用者アンケートを実施し、その結果を「地域における移動手段の確保・補完に関する検討会」(平成29年5月設置)において検証し、今後の観光二次交通のあり方の検討に繋げていく。</p>